



浜松まつりを彩る「市凧」の糸目付けについて

1 目的

伝統行事である「浜松まつり」は、凧揚げ合戦などを中心に多くの市民が参加する市内最大級のイベントであり、国内外からの観光客を呼び込む強力な観光資源となっています。

市では、凧揚げを魅力発信の絶好の機会と捉え、これまで、市制100周年、直虎プロジェクト推進事業、新元号、家康プロジェクト推進事業、浜名湖花博20周年事業など、シティプロモーションの一環で、その年を象徴する凧を揚げてきました。

今回は、本年が日本とブラジルの外交関係樹立130周年にあたることから、両国政府が「日本ブラジル友好交流年」と位置付けて作成したロゴマークを使用し、下記デザインとしました。5月3日(土・祝)の開会宣言に合わせて、大空に舞い上がる市凧をご覧ください。

その準備として、以下の日程において凧の糸目付けを行いますので、取材いただきますようお願いいたします。

※糸目付け：凧に糸目の穴を開け、糸を通す行事。数十本の糸目を付け、一本に束ねるもの。

2 日時・場所

【日時】 令和7年4月26日(土) 9:00～12:00 〈糸目付けが終わり次第解散〉

【場所】 浜松まつり会館北側搬入口付近(住所：中央区中田島町1313)
(雨天の場合は、浜松まつり会館の中で実施)

3 参加者

在浜松ブラジル総領事館ガルシア総領事、ブラジル人コミュニティ有志の方々、浜松市職員ボランティア

4 デザイン・大きさ



※6帖凧・4帖凧：各1枚

※6帖凧(1辺が約2.9m)・4帖凧(1辺が約2.4m)

5 その他

5月3日の市凧の凧揚げは、ブラジル人コミュニティ有志の方々及び浜松市長を始めとした市幹部職員などにて行います。